

さかい学的

につぽん考

社会保障と税の一体改革

～ワニのあごをはずさないために～



平成24年の通常国会が1月24日から始まりまし
た。田中防衛大臣の失言や、議事録を全く作って
いなかったという信じられない問題などで既に揺
れている国会ですが、やはり何より大事なものは、
「社会保障と税の一体改革」に関する議論だと思
います。

1月24日に国際通貨基金（IMF）が「10%への増
税では日本の財政再建には充分ではない」と指摘
しました。一方、読売新聞の世論調査でも、63%
の方が消費税は致し方ないと答えています。しか
し、今の政府のやり方でいいか、となると一気に
16%へと下がってしまいます。

「ワニの口」の構造

どうしてもやり抜くという野田総理の発言には
感服する一方で、「マニフェストの年金改革をす
ると仮定すれば17.1%への消費増税が必要なる
ので、当面は公表しない」とする行動にはチグハ
グさを感じます。これが政治への不信につなが
り、新しい政策への不安につながっていきます。
この課題は、こんなにチンケなものではなく、幅
広くいろんな分野に影響するものだと考えます。

まず全体の収支を見れば、「ワニの口」の状態
を変えなければいけないにもかかわらず、そのた
めの議論や方策が全く出てきていません。ワニの
口とは、日本の歳出（ワニの上あご）と税収（下
あご）の折れ線グラフの状態を言います。歳出は
右肩上がり。税収は横バイ。ですから、年が経て
ば経つほど、不足分が増えていくのが“ワニの
口”です。社会保障費だけでも毎年約1兆円ずつ費
用が増加すると言われていました。

消費税というのは、税収の折れ線の角度を上げ
るのではなく、この税収を横バイのまま上に押し
上げるものです。その時は、増税分だけ差がなくな
りますが、次の年からまた差が開始します。毎年
1兆円ずつ社会保障費がかさむのであれば、5%
増加して12兆円税収増になっても、12年で今と同
じ金額の不足を生じる結果に戻ってしまいます。
これでは安定したとは言えません。

財政と社会保障が安定するためには、社会保障
費を下げ、税収を上げていくことが必要になりま
す。社会保障が必要な方々にとって最低限必要な
サービスを、より少ない費用で効率良く提供して
いく制度が右肩上がりの線を抑えるのに必要で、
また経済成長させる成長戦略が横バイの線を右肩
上がりにさせるのに必要となります。

一体改革の「一体」とは

開いていくワニの口を閉めるためのこれらの政
策と一緒に提示していかないと、将来への不安は
消えないと国民はそう感じているのではないで
しょうか。

社会保障費の中で特に金額が大きいのは、年
金、医療、介護なので、少なくともそれらは今後
どう改革していくのか？ここには、大家族のあり
方や地域社会の関わりあいなども今まで以上に大
きな役割を占めるようになっていこうと思えます。

一方で、デフレ克服のためにどういう政策を行
うのか、円高対策として何をするのか、どういう分野
を今後日本の主軸として育成していくのか、など
も同時に示して初めて「一体改革」になります。

個人的には、年金に関しては、今の自民党の方
針とは異なりますし、現実的に制度移行をした時
には、かなりの不公平が出る心配もありますが、
基礎年金部分は税金でみていく方向しかないの
ではないかと感じています。

また、介護分野は医療と比べて制度としては
「後発」です。ですから待遇にかなりの開きがで
ています。しかし、需要が一気に上がってきている
のも事実で、何とかして頑張っって大変な仕事をして
いる介護従事者の待遇は上げたいと感じています。

改革の目標地点

そして、最も基本は日本人のあり方だとも思
います。先日、日本が貿易赤字国となったという
ニュースがありました。その中で、日本の製品の
競争力が落ちているのでは？と懸念する内容が見
受けられました。（ウラ面へ続く）

(オモテ面より続く)

まさしく国際競争の中で、勝ち残っていくバイタリティーと勢いを日本は持っていかねばなりません。始めから誰かを頼りにするのではなく、自助、共助、公助の考え方で努力を続けていける国柄であることが大切ではないでしょうか。これは、単に社会保障という一つのテーマに留まらず日本の社会がこれからどうなっていくのか、外国

と太刀打ちできるのか、私たちの孫、子のための望ましい国として残れるのか、の大変大きなテーマです。まずは、政府・与党がその叩き台を提案することで与党の責を果たし、その案を実行すべきものにしていくという点で野党もしっかり協力し、議論を進ませることが今の日本の政治には必要だと思います。

さかい学の活動報告

戸塚区出身のみなでしごジャパンの近賀ゆかり選手を激励するパレードが行われました。本日に多くの地元の方々が彼女の活躍を喜び、期待していることを、近賀選手と一緒に歩きながら感じました。



日本の安全保障を考える会 開催しました

民間の軍事アナリストの竹内理氏を講師に招き、「日本の海外協力のあり方～テロ関連などの海外活動～」をテーマに、話し合いました。

日本は、PKO、後方支援・復興支援、難民救援など様々な海外協力を行っており、この活動が日本の安全保障に重要な意味を持つこととなります。

日本の支援に対する海外からの期待が高まるなか、今回は、日本の活動の現状を踏まえ、自衛隊の規定や武器輸出三原則などに関する国内法の整備について、また、続発するサイバーテロに対して、日本での対処、国際社会との連携をどうするかといった課題から、安全保障について考える会となりました。

最終回となる6回目は、「考える会」のまとめを行います(3月開催予定)。みなさまのご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ】さかい学事務所

さかい学の活動案内

自民党泉区連合支部 賀詞交歓会

日時:平成24年2月12日(日)

11:00～

場所:JAみなみ総合センター 4階

(横浜市泉区中田西2-1-1)

会費:男性3,000円 女性2,500円

県議会議員・石井もとみち、横浜市議員・かじむら充、前衆議院議員・さかい学が、活動報告を致します。

みなさま、お気軽にお越しください。

なお、戸塚区、瀬谷区でも下記の通り集いを催します。

2月4日(日)16時～18時 戸塚区地域会議室

3月4日(日)13時～15時 JA横浜 瀬谷支店

お気軽にお問い合わせ・ご参加ください。

【お問い合わせ】さかい学事務所

さかい学を囲んでの女性のための勉強会

日時:平成24年2月15日(水)

15:00～16:00

場所:泉区内

政治に関して日常の生活で疑問に思っていることを、さかい学と一緒に気軽に話す勉強会です。**今回のテーマは「社会保障と税の一体改革」。**

「そもそも、社会保障と税の一体改革って、何?」「増税は必要なの?」など、疑問に思うこと、不安なことを一緒にお話ししましょう。どうぞお気軽にご参加ください。

【お問い合わせ】さかい学事務所

【ボランティアさん大募集!】

駅頭活動でのピラ配り

機関紙の作成、ピラ折り

ポスティング

ポスター貼り、ポスターを貼らせていただける場所の紹介
集会・イベントなどの準備 宣伝活動、ウグイスなど

さかい学事務所

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階
045-863-0900 FAX 045-865-6700 info@sakaimanabu.com

ホームページ <http://www.sakaimanabu.com/>

